学校番号	1009

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭科は、常に「あなたはどうですか？」と投げかけられる教科であることを理解してください。そのことから、「私はこう思う」「私ならこうする」ということを意識して授業に参加し、学んだことを自分の人生に役立てるものにしていってください。
・教室でたくさんの仲間と共に学ぶということを活かし、他の人からたくさんの「考え方」や「方法」を学んでください。そのためにも、積極的に授業に参加するようにしましょう。
・生活を文化的視点と科学的視点とを組み合わせて考えていきます。“あたりまえ”と思っていることに改めてスポットライトを当てるような「好奇心」を持って授業に参加してください。

２ 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び子どもの発達、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び子どもの発達、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び子どもの発達、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び子どもの発達、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録の記述 レポート、発表 自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録の記述 レポート、発表 定期考査	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 実習記録の記述 レポート、発表 定期考査等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録の記述 レポート、発表 定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月・5月	人の一生と家族・家庭	○家庭科の学び方 ・家庭科を学ぶ意義 ＊「私は」（自分を見つめるワーク） ○青年期の自立 ・ライフステージ ＊「サイレントオークション」（結婚に対する価値観） ・性別役割分業意識 ・ライフコースと人生に起こる出来事 ○家族について ＊「これって家族？」（家族の定義を考える） ・家族に関する法律	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:自身が青年期にあるという視点から、青年期の課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行い表現している。 c:起こりうる事例から青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月・6月	食事と健康	○食事の意義 ・食事の役割 ・朝食の効果 ○食生活の問題 ・欠食、偏食、「こ食」 ・肥満、痩せ ○食品の選択と表示 ・生鮮食料品の選び方 ・加工食品の表示 ○安全な食生活 ・食中毒 ・食品の保存 ○バランスの良い食生活 ・五大栄養素のはたらき ・ＰＦＣバランス	○ ○	 ○ ○	 	○ ○ ○ ○ ○	a:食生活と健康に関心をもち、自分の食生活をよくするという視点で主体的に学習に取り組んでいる。 b:食生活と健康について課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行い表現している。 c:生涯を通して健康を保つために、食生活を営むために必要な技術を身に付けている。 d:食生活にまつわる事項を科学的に理解し、食生活と健康の関わりについて必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
夏季休業中	ホームプロジェクト・学校家庭クラブ	○ホームプロジェクト・学校家庭クラブの意義 ○ホームプロジェクト・学校家庭クラブ実施例の紹介 ○目標の設定と実施計画の作成 ○ホームプロジェクト・学校家庭クラブのまとめポスター作成と発表	○	○	○		a:ホームプロジェクト・学校家庭クラブに関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざし、探究してその成果を表現している。 c:計画に沿って工夫して実践することができている。	

7月～10月	被服と着装	○被服の機能と着装 ＊「人類が初めて身につけたものは？」（被服の起源を考える） ・被服の起源 ・被服の役割 ＊「旅の準備」（目的に応じた被服の選択） ○被服の快適性と材料 ＊「不感蒸泄体験」（実験） ・被服の快適性 ・被服材料（繊維・布） ＊「暑い夏に快適な衣服とは？」 ○被服管理 ・洗濯の手法 ・洗濯機のはたらき ・洗剤のはたらき ○被服実習 ＊手縫いのバンダナ製作	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:被服の機能や役割、手入れに関心を持ち、快適な衣生活を営むという視点で主体的に学習に取り組んでいる。 b:快適な衣生活を営むための課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行い表現している。 c:快適な衣生活を営むために必要な被服計画、縫製などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、快適性、被服材料、被服管理など衣生活にまつわる事項を科学的に理解し、快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表 作品 定期考査
10月～12月	消費生活と生涯を見通した経済の計画	○家計管理・生活設計 ＊「貝塚くんの給料明細」（収入と支出のバランスを考える） ・収入と支出 ○消費者問題 ・契約の意味 ・消費者を守るルール ＊「消費者をめぐる問題」について考える （グループで問題点と解決策を考える） ・消費生活センターの役割	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:家計や生活設計、消費者問題について関心をもち、主体的な意思決定や消費行動を行うという視点で学習に取り組んでいる。 b:家計や生活設計、消費者問題について課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行い表現している。 c:家計管理や意思決定など、消費生活を営むために必要な技術を身に付けている。 d:家計や生活設計、消費者問題について理解し、消費生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表 グループワーク 定期考査
1月	災害時の対応	○災害に被災した時、どうすればよいか？ ＊「クロスロード」（災害時の出来事を題材に、意思決定を促すゲーム）	○	○	○	○	a:自然災害について関心をもち、被災した時に自分はどうするべきかという視点で主体的に学習に取り組んでいる。 b:被災時に想定される諸課題について、その解決をめざして思考し、適切な判断を行い表現している。 c:被災時に必要な技術を身に付けている。 d:被災時の出来事を想定し、課題を解決するための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表

1月	食事と健康	○食品と調理 ＊「手を洗おう」（蛍光ジェルを用いて手洗いの効果を確認する） ＊調理実習	○	○	○	○	（5月・6月の「食事と健康」の欄に同じ）	授業観察 レポート
1月～3月	子どもの発達と保育	○命の誕生 ＊「妊婦体験」（妊婦体験ベストによる疑似体験） ＊「赤ちゃんのイメージ」（赤ちゃんと聞いて思いつく単語の確認） ・妊娠と母体の健康管理 ○子どもの身体の発達 ・育ちの区分 ・身体の成長 ・運動機能の発達 ＊「運動機能の発達を並べてみよう」（カード教材を用いて発達の順序性を確認する） ○子どもの心の発達 ・言葉と心の発達 ・自我と愛着の形成 ○子どもの生活 ・基本的生活習慣 ・子どもの衣・食生活 ○子どもの健康と安全 ・子どものかかる病気とその予防方法 ・子どもの事故防止 ＊「家の中の安全チェック」（イラスト教材を用いて住まいの中の危険箇所を指摘する）	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a：子どもの心身の発達や生活について関心をもち、自らが親や大人になるという視点で主体的に学習に取り組んでいる。 b：子どもの心身の発達や生活について課題を見いだし、その解決をめざして思考し、適切な判断を行い表現している。 c：子どもの心身の発達や生活を支えるために必要な技術を身に付けている。 d：子どもの心身の発達や生活について理解し、子どもの成長を支えるために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。